



鳥取市 多文化共生推進プラン 【概要版】



計画の構成、期間

プランの構成

- I プラン策定にあたって
- II 多文化共生の意義
- III 現状・課題
- IV 基本的な考え方と施策体系
- V 施策の推進
- VI プランの推進体制

プランの計画期間は、
令和3年度（2021）～ 令和7年度（2025）
の5年間です。

鳥取市多文化共生プラン

5年間

令和3年度
(2021)

令和4年度
(2022)

令和5年度
(2023)

令和6年度
(2024)

令和7年度
(2025)

I プランの策定にあたって

多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

(平成18年3月総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書」より)

在留外国人を取り巻く環境

- ・ 在留外国人の増加、
多国籍化
- ・ 産業界の人手不足、
在留資格「特定技能」の創設



★外国人を単なる訪問者としてではなく、地域社会の一員として共に生きていく多文化共生の地域づくりを一層推進します。

★外国人を含むすべての住民が安心・安全に暮らせる多文化共生社会の実現を図り、多彩な人材の確保をめざします。

★これまでの取組に加え、社会経済情勢の変化に伴う新たな課題やニーズを踏まえた取組を展開します。

II 多文化共生の意義

★地域の課題解決や将来の方向性のために

- (1) 外国人住民の受け入れ主体としての地域
- (2) 外国人住民の人権保障
- (3) 地域の活性化
- (4) 住民の異文化理解力の向上
- (5) ユニバーサルデザインのまちづくり

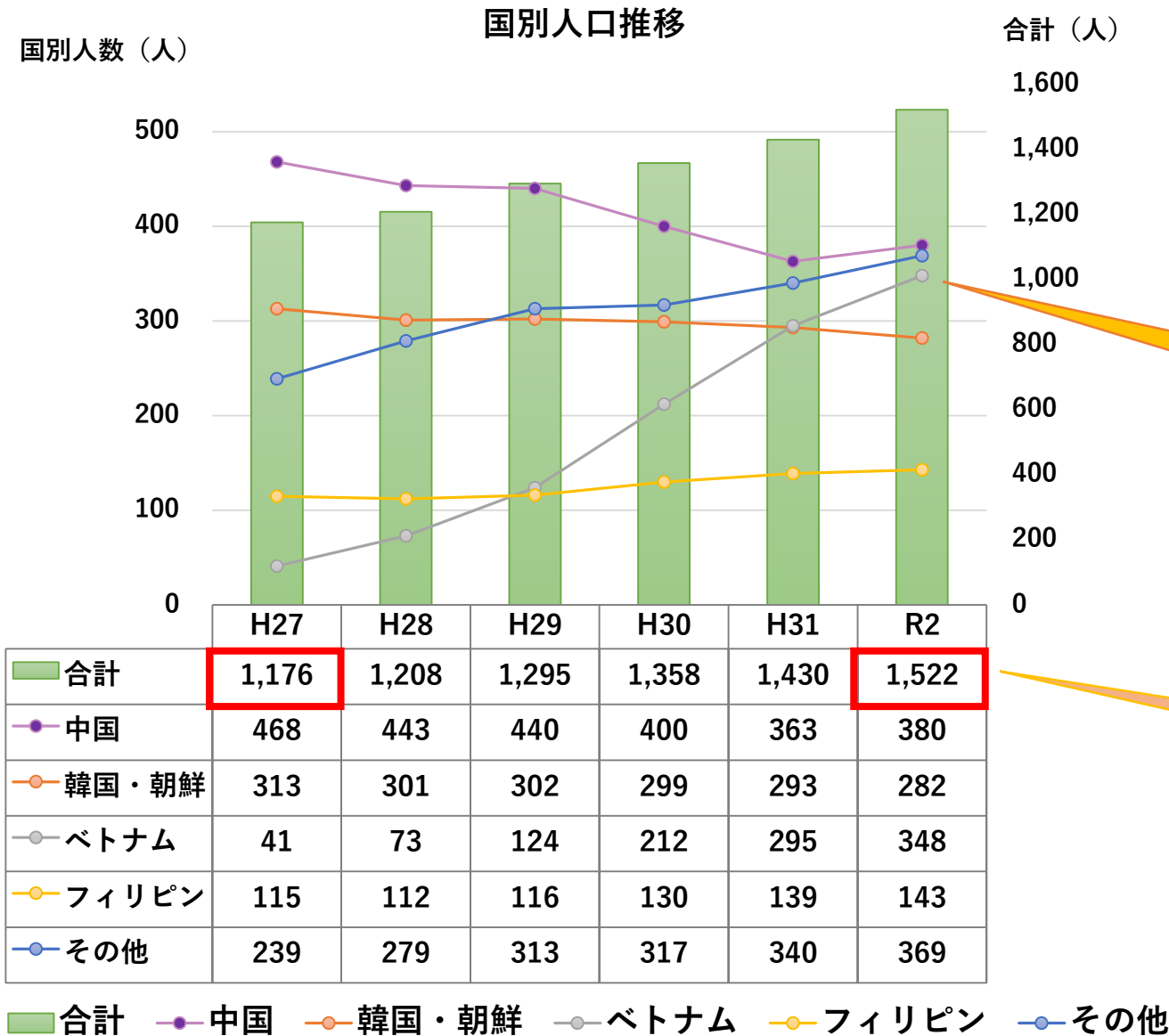
★鳥取市を取り巻く環境の変化に対応するために

(例) 入国管理制度の改正
ICT（情報通信技術）の進展
激甚化する災害の頻発など

- (6) 多様性と包摂性※¹のある社会の実現による「新たな日常」の構築
- (7) 外国人住民による地域の活性化やグローバル化
- (8) 地域社会への外国人住民の積極的な参画と多様な担い手の確保
- (9) 受け入れ環境の整備による外国人受け入れの実現

※¹ 社会的に弱い立場にある人々をも含め、市民一人ひとりが排除や孤立することなく社会の一員として取り込み、支え合うこと。

Ⅲ 現状・課題：鳥取市の現状



令和2年1月31日現在
 鳥取市の総人口 186,925人
 鳥取市の外国人住民数 1,522人
 国籍数 49か国

ベトナムからの技能実習生が
増加傾向

※技能実習制度は、外国人が、日本の企業において母国では習得困難な技能を習得するための制度

平成27（2015）年と比較すると、
 令和2（2020）年までに全体
 として**増加傾向**

III 現状・課題：これまでの取組

①外国人住民へのコミュニケーション支援

取組内容	
■日本語ボランティア	・国際交流プラザに登録している日本語ボランティアが、日本語や日本文化などを教える
■国際理解講座	・国際交流員が公民館などに出向き、それぞれの文化や習慣などについて紹介
■タブレットを使用した庁舎案内	・専属の通訳とタブレット端末を通じて外国語対応
■多言語電話対応	・市役所への問い合わせに対し、コールセンターを通して「英語」「中国語」「韓国語」で対応



国際理解講座

②外国人住民の生活支援

取組内容	
■国際交流プラザでの相談支援	・生活に関する相談、リサイクル日用品の提供、来日後オリエンテーションを実施
■各種リーフレットの配布	・住民登録時に、各種リーフレットを配布（鳥取市防災マップ、ごみの分別方法、通訳ボランティア制度など） ・多言語による予防接種問診票や母子健康手帳の交付
■教育活動支援員	・日本語指導教育を必要とする児童生徒に対して、学校生活に関する指導や初期的な日本語指導、通訳を行う教育活動支援員を派遣



提供用のリサイクル日用品

Ⅲ 現状・課題：これまでの取組

③多文化共生の地域づくり

取組内容	
■にほんごカフェ	・ 毎月1回、外国人住民と地域住民との交流
■多文化交流フェスタ	・ 外国人住民と地域住民の交流イベント ・ 外国人住民による母国の文化紹介など



にほんごカフェ

④多文化共生の推進体制の整備

取組内容	
■庁内会議の設置	・ 市役所部署間の連絡会議を設置し、各所属での多文化共生に資する取組の情報共有及び事業を推進
■多文化共生に係る意見交換会	・ 外国人支援に取り組む民間団体や市内在住の外国人の方々との意見交換会を実施



多文化交流フェスタ

Ⅲ 現状・課題：鳥取市の課題

①外国人住民へのコミュニケーション支援

課 題

- 日本語や日本の文化、制度を学ぶ機会の充実
- 市役所手続きの案内などの多言語化の推進
- 多言語に対応ができる体制の整備
- 多文化共生に関する職員の意識改革

③多文化共生の地域づくり

課 題

- 国際理解の推進
- 地域における支援体制の充実
(外国人住民が母国の文化を紹介する場や、イベントなどの交流)

②外国人住民の生活支援

課 題

- 生活における支援体制の充実
【生活全般】 【防災】 【子育て】 【教育（就学等）】
【介護】 など

④多文化共生の推進体制の整備

課 題

- 民間団体との連携
- 市役所各部局間の連携

IV 基本的な考え方と施策体系

計画の理念

日本人住民と外国人住民が互いの意見や文化を認め合い、外国人住民が主体的に地域づくりに参画する「多文化共生社会の実現」

「多文化共生社会」の実現

基本目標 1

外国人住民への
コミュニケーション
支援

基本目標 2

外国人住民の
生活支援

基本目標 3

多文化共生の
地域づくり

基本目標 4

多文化共生の
推進体制の整備

それぞれの施策

具体的な取組

V 施策の推進

基本目標 1

外国人住民へのコミュニケーション支援

施策①

行政情報の多言語化を充実

施策②

行政窓口の多言語対応体制を充実

施策③

外国人相談・支援体制の周知及び充実

施策④

職員の多文化共生に関する意識の向上

とっとり市報 ダイジェスト

とっとり市報の概要版を
「日本語」
「英語」
「中国語」で作成。

※作成支援団体
多言語国際交流サポート「TIA」



令和2年1月号

職員向け語学講座

鳥取市職員が語学のほか、
文化などを国際交流員から学ぶ。

令和2年度は
中国語・韓国語・英語
の講座を実施



V 施策の推進

基本目標 2

外国人住民の生活支援

施策① 日本での日常生活ルールについて
【居住】 外国人住民の理解度向上

施策② 外国人に対する支援体制の充実
【教育】

施策③ 外国人住民の地元就職による
【労働】 定住化の推進

施策④ 外国人住民の医療保健福祉サービス
【福祉】 利用時の不安解消

施策⑤ 外国人住民の災害時の安全確保と
【防災】 防災意識の向上

施策⑥ 外国人住民の生活利便性の向上
【その他】

生活についての オリエンテーション

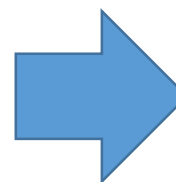
ごみの分別についての
オリエンテーションを
鳥取大学学生の協力で実施。



バス停の 番号制導入

バス停の表示に
番号を導入し、
鳥取の地名が
分からない人にも
簡単に案内ができる。

バス
のりば



導入後

①
バス
のりば

~~町前バスのりば

①番のバスのりば

V 施策の推進

基本目標 3

多文化共生の地域づくり

施策① 地域における共生意識を育てる

施策② 外国人住民と日本人住民の
交流機会の充実

世界を旅する講座

- ・ 講座
(歴史・文化など)
- ・ 軽食づくり



基本目標 4

多文化共生の推進体制の整備

施策① 関係機関、外国人支援団体との連携強化

施策② 市役所各部局間の情報共有と連携強化

地域社会

自治会・町内会
外国人支援団体
多文化共生サポーター
企業、日本語学校
など

連携・協働

行政

庁内プロジェクト
チーム

事務局：文化交流課

IV プランの推進体制

「多文化共生社会」の実現にむけて

- (1) 市役所内「多文化共生プロジェクトチーム」を設置
- (2) 市民、地域、団体、企業等との連携

- ⇒市役所全体で取組を推進
- ⇒情報共有や意見交換を積極的に進める

